

「Loving you too much く好きすぎてバカみたいく」

一生(カズキ)
千愛生(チアキ)
夏恋(カレン)
遊馬(アスマ)

プロローグ カズキの家

・バースデーソングが流れる

・明転

カズキ..ハッピーバースデー

チアキ..ありがとう

カズキ..見て、君の似顔絵を描いてみました

チアキ..私の？嬉しい。

カズキ..うん

チアキ..さすがです。先生。

カズキ..これ、覚えてる？

チアキ..何？

カズキ..僕らがコンビニでバイトしてた時、一緒に休憩入ったことあっただろ？

チアキ..そうだったっけ？

カズキ..覚えてない？

チアキ..うーん。出会ってすぐの頃？

カズキ..そう。その時の君の横顔を描いたんだ

チアキ..へえ、そんなピンポイントなんだ

カズキ..そう。なんか、印象的だったんだ。

チアキ..変なの。じゃあ。ここに飾っておくね

カズキ..いいね。そして、これは付き合ってから1年記念

・花を渡す

チアキ..ありがとう

カズキ..うん

チアキ..あのさ

カズキ..何？

チアキ..大好きだよ

カズキ..うん。僕もだ

チアキ..ありがとう

カズキ..僕の漫画がもつと売れたらさ

チアキ..なにになに？

カズキ..いや、それまで待つておいて。

チアキ..え、なんなの

カズキ..秘密だよ。とりあえずケーキ食べよ

チアキ..じゃあ、待つておくからね

カズキ..うん

・ケーキを食べだす

チアキ..美味しい

カズキ..よかった。

チアキ..うん。あのさ、次はどんな漫画描くの？

カズキ..次は、時代劇みたいなの考えてる

チアキ..水戸黄門みたいな？

カズキ..いやどちらかと言うと大河ドラマみたいな

チアキ..へえ、面白そう。楽しみにしとくね

カズキ..ええ、本当に？

チアキ..当たり前でしょ。私はあなたのファン一号なんだからね

カズキ..そうだったね。ありがとう

チアキ..うん

カズキ..ティラミス残り食べていい？

チアキ..私もティラミスがいいな

カズキ..え？

チアキ..じゃあ、じゃんけんで決めよ。最初は

カズキ..パー

チアキ..：

カズキ..君はフルーツタルトね

チアキ..もう

カズキ..怒るなつてもう。はい。

・カズキ、チアキにフルーツタルトを食べさせる

カズキ..どう？

チアキ..うーん。美味しい。

カズキ..そうだよ

チアキ..うん

・カズキ、チアキ、ケーキを一口食べる

チアキ..あのさ、聞いて

カズキ..何？

チアキ..最近、すごい嬉しいことがあったの

カズキ..お、まさか

チアキ..私、好きな人ができたの

カズキ..またかー

・暗転

・カントリーロードが流れる

・明転

・チアキ登場

チアキ..「好きな人が、できました」これで、好きな人は、彼氏入れて5人目です。昔好きだったとかじゃなく

て、今現在、好きな人です。はい、5人います。彼氏は1人ですよ。恋人は1人までしか作っちゃいけない。らしいですから。みんな喋ってて楽しい。ご飯は誘つてもらつたら行く感じです。2人きりですよ。え？なんですか？あ、それはいいです。彼氏以外とはだめ。らしいですから。私はよくわかんないけど

・チアキ捌ける

・ルージュの伝言が流れる

・カズキ登場

カズキ..「おちこんだりもしたけれど、私はげんきです。私の彼女には好きな人がたくさんいらつしやいます。ええ、びつくりするでしょ。最初は僕も衝撃でした。僕のこと好きって言つたよね？嘘ついたの？嘘じゃないってどういうこと？わかんないよ。でも今はもうなんか慣れちゃつたのかな？彼女は良い子だし、かわいいし、僕のこと好きでいてくれるし。ただ素直なだけなのかな。はい。全然問題ないです。え？僕？いや僕が好きなのは彼女だけです。はい、僕は僕ですから。こうしてる今も彼女が好きです。」

・暗転

シーン①作業室

・明転

・カズキが漫画を描いている

・カレンが原稿を持ってくる

カレン..お疲れ様です。ペン入れ終わりました。

カズキ..ありがとう。お疲れ様。

カレン..はい。先生、あの
カズキ..ん？

カレン..先生が資料として教えてくださった大河ドラマ。私、全部見ましたよ。

カズキ..本当？早いね。どうだった

カレン..面白かったです。私、歴史とかあまり詳しくなくて、大河も初めてだったんですけど。感動しました。歴史物なんだけど、物語というか。ちゃんとドラマになつてて、秀吉と茶々の恋愛描写とか、すごい好きです。

カズキ..ああ、いいね。僕もそのあたりはこだわりを感じたよ

カレン..ああいう、一途な恋愛憧れます。

カズキ..一途ではないかもよ

カレン..ええ？

カズキ..確かにあの2人はそういう描かれ方がちがいでね

カレン..本当は違つたんですか？

カズキ..だつて茶々つて側室だよ

カレン..ええ、そうなんですか？

カズキ..秀吉には他にも奥さんがいるんだよ

カレン..見落としてました

カズキ..まあ、ドラマは一途に描きたがるからね。見落とすのも無理ないよ

カレン..純愛じゃなかったんですね

カズキ..あの時代なら純愛なんじゃない？

カレン..え、そうなんですか

カズキ..あの時代だと、奥さんがたくさんいるのは当たり前前だしね

カレン..なんか嫌だなあ

カズキ..そっか。今だとなかなかない感覚だよ。あ、やばい。もうこんな時間だ。今日はもう上がっていいよ。ありがとう。

カレン..わかりました。先生は？

カズキ..僕もそろそろ上がるよ

カレン..あ、それでしたら。ご飯とか一緒にできないですか？

カズキ..ああ、ごめん

カレン..別に、異性としてじゃなくて、アシスタントとして、親睦を深めたくて。だめですか？

カズキ..前も言ったけど、僕は彼女がいるからさ。誤解を招くようなことはしたくないんだ

カレン..そうですか

カズキ..ごめんね

カレン..そんなに思ってもらえるなんて彼女さんは幸せですね

カズキ..そんなことないよ。喧嘩もおおいしき

カレン..うーん。わかりました。今日は帰ります。

カズキ..うんお疲れ様。ありがとう。ちよつとトイレ

・カズキ捌ける

カレン..はあく。好き。

・暗転

シーン②レストラン

・明転

・チアキとアスマが食事をしている

チアキ..今日は誘っていただいてありがとうございます

アスマ..こちらこそ来てくれてありがとう。

チアキ..私も、ずっとご飯と一緒にしたくて

アスマ..嬉しいな。あのさ

チアキ..はい

アスマ..彼氏ってどんな人？

チアキ..とっても良い人です

アスマ..今日のことなんて言ってるの？

チアキ..好きな人とご飯に行くって伝えてます

アスマ..面白いね

チアキ..変ですか？

アスマ..変ですね

チアキ..そうですか

アスマ..悪いことじゃないんじゃない？世間一般とズレてるっただけで

チアキ..そうですか

アスマ..そう思うよ

チアキ..あの

アスマ..なに？

チアキ..おかしなこと聞いても良いですか？

アスマ..いいよ

チアキ..今の世の中だと、好きな人は1人だけっていう決まりじゃないですか？なんでなんですかね？

アスマ..なんでだろう

チアキ..好きな人が5人いたら幸せは5倍だし、与える愛情ももらう愛情も5倍じゃないですか？なのに、なんでダメなんだろう。

アスマ..うわ。おもしろ

チアキ..面白いですか

アスマ..面白いよ。でも答えはわかんないなあ。なんでだろう

チアキ..なんでなんですかね

アスマ..でも君はすごいね

チアキ..そうですか

アスマ..そんなに世間とズレるって勇気がいることだよ

チアキ..そうですか

アスマ..まだあんまり考えてないだけかな

チアキ..そうですか?

・カレン登場

カレン..あ、お兄ちゃん

アスマ..お前、何してんの

カレン..友達とご飯してたけど、お兄ちゃんは

アスマ..俺も、ご飯だよ

カレン..へえ

・カレン、チアキを怪しそうに見る

・暗転

シーン③アスマの家

・明転

・カレンとアスマがいる

カレン..ねえ、あの人、彼女じゃないの?

アスマ..違うって、ご飯食べてただけ

カレン..ふーん。でもご飯行ったことは、彼女候補で
しょ

アスマ..違うよ

カレン..嘘だ。

アスマ..違う

カレン..あの特徴

アスマ..なんだよ

カレン..お兄ちゃんにその気はなくても、あの方は恋愛
感情持つてるからね

アスマ..それはそうかもな

カレン..そうかもなってるよ

アスマ..恋愛感情はもってもらってるよ

カレン..それを弄んでるの?

アスマ..違うよ

カレン..違わないよ、お兄ちゃんはまた人を不幸にする
んだね

アスマ..人を不幸にはしたことはないよ

カレン..嘘だ。お兄ちゃん、この前。女なんて誰でもい
って言ってたじゃん

アスマ..そうだよ。誰でもいいよ。

カレン..ほらもう

アスマ..でもだからと言って、不幸にしたことはないよ

カレン..嫌だなあ

アスマ..何が

カレン..もつと一途に愛してあげなよ

アスマ..一途って。何だよ

カレン..本気で言ってる?だめだよ。そんなんじや。早
く、出逢いなよ。この人じゃなきゃダメって人に

アスマ..この人じゃなきゃだめ。なんてねえよ

カレン..もう

アスマ..誰と一緒にだろうが、幸せになれるよ

カレン..気持ち悪い。とりあえず、前、ご飯に言ってた
あの女の人。不幸にしちゃだめ。付き合うなら、付き合
う。ちゃんとしなさい。

アスマ..付き合いはしないよ。あつちもその気はない

カレン..だからそれはお兄ちゃんがそう思ってるだけで
しょ

アスマ..あの子には素敵な彼氏もいるんだから

カレン..彼氏いるの?どういうこと?意味わかんないよ

アスマ..彼氏ぐらいいいいだろ

カレン..良くないよ

アスマ..なんで

カレン..彼氏がいるのにお兄ちゃんにご飯行ったの?や
ばいよそれ

アスマ..やばいの?

カレン..当たり前でしょ。浮気じゃん。彼氏にバレたら大変だよ

アスマ..彼氏は知ってるよ

カレン..ええ

アスマ..なんだよ

カレン..あえて泳がせてる感じ？

アスマ..違うよ。

アスマ..どう言うこと？

カレン..あの子は好きな人が多いの

カレン..あ、すぐくお尻がお軽いんでしょうか？

アスマ..敬語が無茶苦茶

カレン..絶対そうじゃん

アスマ..全然違うよ

カレン..あばずれつてやつでしょ

アスマ..まあ、お前にはわかんないだろうな

カレン..はあ

アスマ..じゃあな

・アスマ部屋を出ていく

カレン..ちよつと

・暗転

シーン④カズキの家

・チアキが喋ってる。カズキが漫画を描いている

チアキ..それでね、そのお店の料理がすごい美味しかったの。

カズキ..へえ

チアキ..あんなお店知ってるなんて、やっぱり大人だな

カズキ..かつこいいね

チアキ..うん。次は会社の飲み会で会えるの

カズキ..いいじゃん

チアキ..うん。でも、もちろん家に行ったりはしないからね

カズキ..わかってるよ。それは約束だもんね

チアキ..そうだね。

カズキ..そこは心配してない

チアキ..ありがとう

カズキ..でも気をつけろよ。君はお酒弱いんだから。迷惑かけないようにね

チアキ..わかってる。大丈夫だよ

カズキ..ほんとに？今まで何回も潰れてきたでしょ

チアキ..もう大丈夫。自分の飲める量を把握できたから

カズキ..ならいいけどさ、気をつけてよ

チアキ..うん

・チアキ、カズキが書いている漫画を覗きこむ

チアキ..これ、前言った時代劇？

カズキ..そうだよ

チアキ..え、エロ漫画じゃん

カズキ..違うわ。あのな、青年誌だからエッチなシーンくらいあるよ

チアキ..そう？へえ。でもすごいエッチに描くね

カズキ..そうか

チアキ..うわあ。艶やかな頂が露わだね

カズキ..官能表現やめろ

チアキ..ストレートに言うのと恥ずかしいじゃん

カズキ..いや、そっちの方がいやらしく聞こえるから

チアキ..そう？でも、こう見ると今と変わらないね。

カズキ..何が？

チアキ..今の時代とやってること一緒じゃん

カズキ..そりゃね。文化は変わっても、人間自体は変わらないもんね

チアキ..脱いだら一緒だもんね

カズキ..なんだよ、それ

チアキ..でもそうでしょ？

カズキ..まあね

チアキ..でも、なんか嬉しいな

カズキ..何で

チアキ..なんていうか、どの時代も人は、出会って好きになつて、幸せになるみたい。素敵じゃない

カズキ..ふーん。でも面白いのが一個あつてさ

チアキ..なに？

カズキ..この2人政略結婚なんだよ

チアキ..そうなの？こんなラブラブなのになあ

カズキ..自分が選んだ相手じゃなくても、幸せになれるのかもね

チアキ..ええ、そのなの？私は自分がいいと思つた人がいいけどな

カズキ..それはそうだね

チアキ..でしょ

カズキ..うん。そろそろ寝た方がいんじゃない？明日。忙しいでしょ

チアキ..そうだ。朝から仕事からの飲み会だ

カズキ..体調大事だよ

チアキ..そうだね。おやすみ

・チアキ捌ける

カズキ..自分が選んだ人か、そうだよな

・暗転

シーン⑤飲み会の帰り道

・明転

・チアキとアスマが、涼んでいる。チアキ酔っている

チアキ..楽しい飲み会でしたね

アスマ..そうだね。それより大丈夫なの。結構飲んでたよ

チアキ..大丈夫です。自分が飲める量は把握してますから

アスマ..そつか。ならいいけど。帰りは電車？

チアキ..はい。そうです。

アスマ..じゃあ、駅まで送るよ

チアキ..大丈夫ですよ。駅まですぐだし

アスマ..いいよ。俺の家、駅の近くだから。送るよ

チアキ..そうなんですか？ならお願いします

・チアキよろめく

アスマ..大丈夫？

チアキ..やばいかも

アスマ..まじで？

チアキ..しまった。ごめんなさい

・チアキうづくまる

アスマ..どうした？

チアキ..うーん

アスマ..だいぶやばい？

チアキ..うーん

アスマ..電車乗れる？

チアキ..うーん

アスマ..どうしょ

・暗転

シーン⑥アスマの家

・アスマがチアキを抱えてくる

アスマ..ごめんな、ちよつと散らかつてるけど

・チアキを寝かせる

アスマ..彼氏に申し訳ないな。まあ、2人きりじゃないから安心して。俺、妹と二人暮らし..。あいつ今日ないのか。

・アスマ、ムラムラする

アスマ..てことは2人きりだ。あかんあかんあかん。変なこと考えるな。だめだよ。理性理性理性。

チアキ..うーん..

アスマ…色っぽいなあ。あかんあかん。

・チアキ寝返りを打つ

アスマ…エチエチじゃん

チアキ…うーん

アスマ…綺麗な顔してんなあ。深夜2時、この時間帯は余計綺麗に見える。くっそ。

チアキ…暑い：

アスマ…上着脱がすのはセクハラじゃないよな。いや待て。その状態で俺の理性は持ちますか？持ちません。やめときましよう。

チアキ…暑い：

アスマ…くっそ。頑張れ、俺の理性

・チアキの上着を脱がしてあげる

アスマ…よし。ギリギリ耐えられる。

チアキ…お兄ちゃん：

アスマ…ん？

チアキ…お兄ちゃん：

アスマ…この子も色々あったんだろうな。ちょっと離れて寝るか

・アスマ、床で寝る

チアキ…はあ…

アスマ…寝れねえ

・暗転

・明転

・帰るチアキを玄関で見送っている

チアキ…昨日は本当にすいませんでした

アスマ…いや、壮絶な闘いだつたよ

チアキ…何の話です？

アスマ…何でもないよ。気をつけてな

チアキ…はい。お邪魔しました。

・チアキ捌ける

アスマ…俺の理性頑張つたな。若い頃なら絶対行つた

・カレン登場

カレン…ただいま

アスマ…おかえり。俺、寝不足だから寝るわ。

カレン…うん

・アスマ捌ける

カレン…さつきの子。この家から出てきたよね。それにお兄ちゃん寝不足って。やっぱりそう言う関係なんじゃない。男って、本当に誰でもいいのかな？むかつく。私は絶賛片想い中なのにさ。いいや。スイーツでもドカ食いしてこよ。

・暗転

シーン⑦スイーツパラダイス

・暗転

・カレンがお店から出てくる

カレン…食つた。やっぱ、ストレス発散にはスイーツが一番

・カズキ登場、チアキを待っている

カレン…先生？

カズキ…あ、おはよう。何してるの？

カレン…ここでスイーツ食べてたんです。先生は？

カズキ…僕もスイーツ食べにきたんだ

カレン…お一人ですか？

カズキ…うん。彼女と

カレン…そうですか

・チアキ登場

チアキ…お待たせ

カレン…あなた

チアキ…え？誰ですか

カズキ…あ、この子は、僕のアシスタントしてもらつてる子だよ？

チアキ…そうなの。どうも、お世話になってます

カレン..いえ、別に

カズキ..それじゃまた。

カレン..待つて

カズキ..何？

カレン..あなた

チアキ..何です

カレン..昨日の夜、兄と一緒にいましたよね？

チアキ..え、いや

カズキ..なんの話？

カレン..私、兄と二人暮らしなんです。昨日の夜、私は友達の家泊まって、朝になって帰ってきたんです。その時見たんです。私たちの家から出てくるあなたを

カズキ..人違いじゃない？だって昨日はカラオケに泊まったって

チアキ..それは

カレン..いえ、確かに。あなたでした。

チアキ..ごめんなさい。変に、心配かけたくなくて

カズキ..嘘ついたのか？

チアキ..ごめんなさい。

カレン..あなた、おかしいですよ。お兄ちゃんのこと好きなのに、先生と付き合うなんて

カズキ..それは良いんだよ。僕のことも好きでいてくれる。

カレン..それがおかしいんです。何人も同時に好きになるなんて変。

チアキ..全員、真剣なの

カレン..違う。本当は全員のこと好きじゃない

チアキ..違う

カレン..あなたは男性が好きだけで、一人の人間を好きではないんですよ

カズキ..それは違うよ

カレン..違いますよ。大河ドラマの世界じゃないんですよ。人間は1人だけを本当に好きになるんです。

カズキ..それは

カレン..先生もたくさんの人を同時に好きになるんですか

カズキ..僕はないよ

カレン..じゃあ、わかりますよね。この人の恋愛観は一般的にはおかしいです

カズキ..そうかもしれないけど

カレン..私は一途に先生が好きです

チアキ..え

カレン..本気です

カズキ..困るよ

カレン..何ですか

カズキ..だって僕はこの子が好きだから

カレン..この人は男の家に泊まったんですよ

カズキ..本当なのか？

チアキ..ごめん

カズキ..約束が違うよ

チアキ..でも何もしてないの

カレン..そんなの信じれるわけじゃないでしょ

チアキ..信じて

カズキ..でも

チアキ..そんな

カレン..私には先生が可哀想です。

チアキ..そんなこと

カレン..あなたは黙っていてください。お兄ちゃんとまぐわったくせに

チアキ..本当に何も無いの

カズキ..でも、家に行っただろ。

チアキ..それは

カレン..先生はすごい良い人なのに、あなたは他の男と遊んでるなんて。先生が不憫です。

チアキ..そんな。ねえ

・チアキ、カズキに近づくと、カズキが払いのける。

チアキ..ごめんなさい

・チアキ走り去る

・カズキ暫くして追いかける

・暗転

シーン⑧作業室

・明転

・カズキが漫画を描いてる

カズキ..はあ

・カレンがやってくる

カレン..トーン処理終わりました

カズキ..ありがとう

カレン..昨日、あの後どうなったんですか？

カズキ..ああ、ちよつとね

カレン..私のせいで、すみません

カズキ..君のせいじゃないよ

カレン..でも、私、感情的になっちゃって

カズキ..良いよ良いよ。

カレン..先生、無理してませんか

カズキ..え？

カレン..昨日も言いましたけど、先生はすごい良い人です

カズキ..そんなことないよ

カレン..違います。大人で優しい。

カズキ..そうかな

カレン..だから、無理できちゃうんだと思うんです。

カズキ..うーん

カレン..ごめんなさい。変なこと言ってるかもしれないですけど。私、先生が心配なんです。無理してるんじゃないかって

カズキ..大丈夫だよ

カレン..本当ですか？

カズキ..うん

カレン..そうですか

カズキ..心配してくれるんだ

カレン..もちろんです。やつぱり、先生のこと好きなんです。だから心配なんです。

カズキ..それはありがとう

カレン..先生、今日ご飯食べてないですよ

カズキ..そうだね

カレン..ご飯行きましょ。今日は先生を1人にできないです

カズキ..え？

カレン..コンビニでも良いですから

カズキ..いや、ご飯行こうか

・暗転

シーン⑨カズキの部屋

・明転

・カズキとカレン登場

カレン..綺麗な部屋。お兄ちゃんの部屋とは大違い

カズキ..そっか

カレン..あ、ごめんなさい

カズキ..いやいや、大丈夫

カレン..いえ。あの、ご飯ご馳走様でした。

カズキ..全然。あれぐらいなら払えるからね

カレン..美味しかったです

カズキ..良かった

カレン..でも、本当におしゃれな部屋。大人の部屋って感じ

カズキ..そう？荷物少ないだけだよ

カレン..そうですか?でも、掃除も行き届いててすごい
です

カズキ..そう?

カレン..そうですよ。私、掃除苦手

カズキ..あのさ...

カズキ、カレンに近づく

カレン..あ

カズキ..ん?

カレン..シャワーだけいいですか

カズキ..ああ、あっちだよ

・カレンがシャワーに向かおうとした時、似顔絵に気
づく

カレン..綺麗

カズキ..え、何が?

カレン..この似顔絵

カズキ..ああ。

カレン..これ

カズキ..綺麗だな。

カレン..はい。あの人ですよ

カズキ..うん。あの、ごめん...

カレン..先生

カズキ..僕、いけないといけない

カレン..待つてください。

カズキ..ごめん

カレン..じゃあ、なんで、私をここまで連れて来てくれ
たんですか?

カズキ..それは

カレン..寂しかったからですか?

カズキ..:

カレン..先生

カズキ..そうかもしれない

カレン..誰でも良かったんですか?

カズキ..それは:

カレン..正直に答えてください。

カズキ..違う

カレン..嘘だ

カズキ..え

カレン..本当のこと言ってください

カズキ..:

カレン..お願い

カズキ..そうかもしれない

カレン..それでもいいです

カズキ..え

カレン..誰でもいいいいです。

カズキ..でも

カレン..誰でもいいいいから。誰でもいいなら、私に
してください。

カズキ..:

カレン..私はそれで十分なんです

カズキ..誰でもいい。か

カレン..:

カズキ..ごめん

カレン..そうですか

カズキ..ごめん

カレン..謝らないでください。惨めになります

カズキ..そうか

カレン..早く行ってください。気まずいです

カズキ..うん。ありがとう

・カズキ捌ける

カレン..こんな絵見せられたら。もう、私のほかあ。

・暗転

シーン⑩チアキの部屋

・明転

・カズキ走ってきて扉をノックする

カズキ..おい、僕だよ

チアキ..何できたの？

カズキ..開けてくれよ。

チアキ..今は会いたくない

カズキ..頼む

チアキ..だめだよ

カズキ..走ってきたんだ

チアキ..しらないよ

カズキ..聞いてくれ

チアキ..何？

カズキ..僕、他の女の子と関係持とうとしたんだ。

チアキ..そう。あの、アシスタントの子？

カズキ..うん

チアキ..良かったじゃん

カズキ..違う。持とうとしただけで、持ってないよ。ギリギリ。こっちにきた

チアキ..なんでよ

カズキ..君の似顔絵見たから

チアキ..どうということ

カズキ..わかんないけど、会いにきたんだよ。喜べ。

チアキ..何よ。

カズキ..別にそれだけ

チアキ..会いにきて来れたのは嬉しい

カズキ..ならよかった

チアキ..うん

カズキ..鍵、開けてよ

チアキ..だめ

カズキ..何で

チアキ..やつぱり私、変なんですよ

カズキ..まあね

チアキ..でしょ。やつぱり好きな人がたくさんいる女なんて嫌なんですよ。

カズキ..別に嫌じゃない

チアキ..嘘だ

カズキ..そりゃ、嬉しくはないけどさ。君が好きだもん。仕方ないじゃん

チアキ..私のどこがいいの

カズキ..この前、似顔絵プレゼントしたろ

チアキ..え？

カズキ..あれ、いつか覚えてる？

チアキ..バイトの休憩中

カズキ..そう。大体、夜の2時くらい。その時間帯にみた。君の横顔が綺麗すぎたんだ。

チアキ..それだけ？

カズキ..それだけじゃないけど、それが始まり。夜の2時って、なんか魅力的に見えるちゃうんだよ

チアキ..なにそれ、じゃあ深夜2時だったら、誰でも良かったの？

カズキ..誰もいいか。

チアキ..何？

カズキ..それさつきも聞かれた

チアキ..しらないよ

カズキ..そうだな。

チアキ..なんて答えたの

カズキ..誰でもいいのかもなって

チアキ..誰でもいいんだ。

カズキ..そうだと思う。

チアキ..そう。まあ、脱いじゃえばおんなじだもんね
カズキ..何言ってるんだよ

チアキ..本当のことですよ

カズキ..:

チアキ..違う？

カズキ..いや、違わないか。

チアキ..私たち、面白いね。好きな人がたくさんいる私
と、誰でもいいあなただよ

カズキ..僕はそれでいいんだと思う。

チアキ..ええ？

カズキ..だって好きな人がたくさんいるのも、誰でもい
いのも、人間ってそれが自然なんじゃないかな。

チアキ..そっか。なんかばかみたいだね

カズキ..違うよ。だってそれでも僕はここに来ただろ

チアキ..え

カズキ..好きな人がたくさんいるとか、誰でもいいとか。
全部、それが自然だって受け入れた。それでも、その上
でも、会いたいと思うのは君だったよ

チアキ..うん

カズキ..そうだ。だからこの気持ちだけは本当だと思っ

チアキ..そっか

カズキ..喜べよ

チアキ..嬉しいけど

カズキ..それに、君に好きな人がたくさんいたとしても
だよ。

チアキ..うん

カズキ..君と付き合えるのは僕ぐらいじゃない？

チアキ..え？

カズキ..君みたいなの僕ぐらいしか受け入れないよ

チアキ..そんなことない

カズキ..自分のめんどくささに自覚ないのか？

チアキ..ある

カズキ..あんのかい

チアキ..うるさい

カズキ..そこ僕は受け入れてる

チアキ..でも他にも受け入れてくれる人ぐらいいるし

カズキ..無理無理。そこ受け入れられても、君は他にも
問題あるもん

チアキ..何それ。

カズキ..例えばね

チアキ..何よ

カズキ..夜が野生的とか

チアキ..何言ってるの

カズキ..あれ受け入れられるのは僕だけじゃね？

チアキ..うるさいなあもう。

カズキ..とりあえず、僕はあなたを受け入れる覚悟はし
た

チアキ..:

カズキ..どうする？

チアキ..:

カズキ..じゃあね

・カズキ去ろうとする

チアキ..待つ

カズキ..待って、犬か

チアキ..うるさい、黙れ

カズキ..どしたの？

チアキ..ここにいて

カズキ..わかった

チアキ..むかつく。ああ、もうバーカ

カズキ..情緒不安定で草。ここ開けて

チアキ..今日は帰って

カズキ..どつちだよ

チアキ…今日はむかつくし、嬉しいし、なんか気まずいから、帰って

カズキ…めんどくさ

チアキ…:

カズキ…じゃあ。チューするか？

チアキ…なんでそうなるの？

カズキ…全部解決する

チアキ…バカなの

カズキ…:

チアキ…:

・チアキ鍵を開ける

・暗転

ラスト

Fine on The outsideが流れる

・明転

・チアキ、カズキ登場

チアキ、カズキ…「あなたのことが大すぎ。」

チアキ…私にはずっと疑問がありました。なぜ、人は1人しか好きになっちゃいけないのか。彼氏の対して彼女は1人。たしかに周囲の環境はそれが当たり前です。でも海外には、そうじゃない地域もあるらしい。たくさん旦那さんがいたり、たくさん奥さんがいたり。日本だつ

てそんな時代があったらいい。生まれた場所や時代が違えば、私の価値観も普通だったのかな。でも所有欲というか、独占欲みたいなものも、絶対ある。自分の物したい。でも一つ、今回のことを通して分かった。これからもたくさん人を好きになるだろうけど、そんな中でも私はあなたを選んできつと後悔はしない。

カズキ…女なんて誰でもいい。ひどい言葉に聞こえます。でも、僕は誰でも良かったんですか？と聞かれて、否定できませんでした。でも、そうなんだと思う。今まで、いろんな女の子に好意を持ったし、好意を持たれてきた。どの子と一緒にいても、きつと僕は幸せだった。これから出会う人達もそうなんだと思う。世の中には、付き合っして幸せになる人も不幸になる人もいるし。不倫して幸せになる人だっている。運命の人なんていないだ。でも一つ、今回のことを通して分かった。誰とだつて幸せになれるこの世界で僕は君を選んできつと後悔はしない。

チアキ、カズキ…巡り合えた奇跡がきつとあるから

・チアキ、カズキ歩み寄る

チアキ、カズキ…「Loving you too much」

・カレン、アスマ登場

カズキ、チアキ…ありがとうございました

おしまい